

担任からのクラス紹介！

【ひよこ組 0歳児 9人】担任:森戸 副担任:倉留

子ども一人ひとりの成長に合わせて、向き合い、やり取りをおして欲求に応えながら、信頼関係を育む保育を行っています。みんな表情豊かに、声を出して笑ったり、嫌なことを泣いて知らせたり、自分の思いを全身を使って伝えてくれています。

室内でしっかり身体を動かして遊べるように、すべり台やマットの山、段ボールハウスを設けました。思い思いに這う、歩く、登る、下りる、くぐるなど活発に動き回っています。

安心、安全な環境と信頼関係の下、食事、睡眠、排泄など、一人ひとりに寄り添い、基本的な生活習慣が身に付くよう、感情が豊かに育まれるよう支援していきます。



【桃組 2歳児 18人】担任:今田

園児同士の関わりが深まり、けんかも増えていますが、「かして」「あとで」「いいよ」など、言葉を使って思いを少しずつ伝えられるようになってきました。

体を動かすことが大好きで屋上でも公園でも疲れることなく走り回っています。遊びながら歌ったり楽器を鳴らしたり、自由な発想でリズム遊びや音遊びを楽しんでいます。

紙パンツからパンツに多くの子どもが移行できてきてています。今は自分でズボンをずらして排泄する練習をしています。上手くできたことを一緒に喜びことで、子どもたちも自信につながり「できたよ」と笑顔になっています。

自分と周りとの違いに少しずつ気付く中で、相手を思いやることや、決まりが分かるように支援していきます。また、皆で一つのことを成し遂げる喜びや満足感を共感していきます。

★8分野の専門支援でチーム保育を推進★

①知識能力(知育)支援担当:原田 園長代理

白ぐみは、学校ごっこの中で、ひらがなを書き順を意識して書くことに挑戦しています。子どもたちが「〇〇のじはどうやってかきますか?」と手を挙げて質問し合うなど、楽しみながら取組んでいます。青、黄ぐみも鉛筆を正しく持って線や円、図形、文字を書くことを楽しんでいます。

乳児クラスは、ひもとおし、洗濯ばさみ遊びなど、学習や運動につながる指先を使った遊びを支援していきます。

②創作・造形支援担当:奥崎 主任

白組は園芸と連携し、個人の花の寄せ植えの設計図を描いたり、ハロウィンの飾り付けを準備しました。青組は自分の思いを水彩画で表現しています。黄組は絵画表現のひろばで筆遊びをし、絵の具を使って筆で描く楽しさを感じました。

これからは、素材に秋の自然物を取り入れながら、作ること、描くことの楽しさを感じるようにしていきます。

【青組 4歳児 18人】担任:細川

運動会に向けては、自信がない子どもも多く、鉄棒やとび箱など、不安が一杯でしたが、練習を重ね挑戦する意欲が高まり、自信を持ってクリアできるようになりました。バーレンも練習をとおしてクラスのみんなが力を合わせる大切さや楽しさを感じ、チームで楽しく演じることができました。

運動会で大勢の人たちに見て応援してもらい大きな喜びを感じ、自信とチャレンジする勇気が身に付きました。室内では、それぞれ役割を決めて運動会ごっこを楽しんでいます。

秋を迎えて、大好きな絵本や図鑑を見ながら、みんなで話し合ったり、自然の変化に触れたり、製作などをとおして、秋を体感し、楽しんでいきます。また、秋の歌を歌ったり、音楽に合わせて身体でリズムを刻んだり、自分を表現するとの楽しさを感じられるように支援していきます。



【黄組 3歳児 19人】担任:島崎

運動会の経験をとおして、初めは「怖い」と一本橋を渡るのをあきらめたり、悔しくて涙が出たりすることもありましたが、繰り返しの練習の中で「できた」ことの嬉しさが次の挑戦に繋がったり、友達に応援されることで、やる気が出たりしました。家族の応援を喜び、楽しみ、勇気をもらって、最後までやり遂げた達成感や褒められたことが自信になりました。自信をばねにして、自分の思いを相手に伝えたり、相手の気持ちに気付くことができるようになっていきます。

運動会で演じたりリズム表現を発展させて、音楽に合わせて身体を動かしたり、感じたこと身体で表現できるよう取組んでいきます。様々なものに興味や関心を持ちながら挑戦し、自立心や好奇心を持つように支援していきます。

【白組 5歳児 19人】担任:本岡

今まで育んだ「絆」を大切に運動会に全力で取組みました。リレーの順番などではリーダーを中心に話し合いを重ね「〇君はここがいいんじゃない?」「私はここでもいい?」などとアイデアを出したり、譲り合ったり、子どもたちが主体となって、考え取組みました。3日前まで、できなかったリズム表現や組体操もメンバーと協力し、みんなを思いやる気持ちの大切さに気付き「心を一つ」に息を合わせた演技を披露できました。

これからは、季節の歌や運動会のマーチで学んだことを活かし色々な楽器を使い、リズム打ちなど楽しめます。製作も季節や行事への興味を高め、多様な技法、表現方法を使い取組みます。テーマを考え卒園に向けた作品制作にも取組みます。

就学に向けては、一人ひとりが主体的に気付き、考え、行動していくように援助していきます。

【赤組 1歳児 16人】担任:金井 副担任:松本

天気の良い日は、秋の日差しの中、屋上で遊んでいます。

空を見上げて「ひこうき」と指差したり、電車の音が聞こえると「でんしゃきた」とフェンスに一列に並んで電車を探しています。二輪車の運転も上手になりました。

玄関前で落ち葉を拾ったり、虫を見つけて「むし」と教えてくれたり、園児同士で仲良く虫を観察をしたりしながら、秋のとどれを感じ、自然に興味を示しています。

園児同士のかかわり合いも深まって「かして」「どうぞ」「ありがとう」など、言葉のやり取りが出てきました。

一緒に遊ぶ中では、互いの思いがぶつかり合うこともあります、言葉でのやり取りができるよう仲立ちして、自分の思いを伝え、相手の思いが分かるよう支援していきます。

③運動機能支援担当:蒲生 幼児主任

運動会では、今まで取り組んできた運動のひろばや支援が子どもたち一人ひとりの大きな自信と勇気につながっています。身に付いた自信が新たな挑戦意欲につながっています。「鉄棒で新しい技をやりたい」「縄とびが上手になりたい」と新たな課題に取組んでいます。これから、ルールのある集団競技(ドッヂボールなど)も取り入れ、色々な競技を知り、チームで競技する楽しさを感じられるよう支援します。

⑥食育・健康支援担当:酒井 佐々木栄養士 今田 もも組担任

広島食育の日を中心に行なった「ひろしま給食」に取組みました。子どもたちに食材を見て、触って知る取組も進めています。

いい歯の日(11月8日)にちなみ、いつまでも美味しく食べるため、歯の大切さや、歯磨きの仕方を子どもたちと一緒に考えます。また、ウイルス性胃腸炎などの感染症が増える季節です。手洗い、うがいの指導を徹底していきます。

野菜は給食で食べて、花は飾ります。冬野菜の白菜、キャベツ、ブロッコリー、カリフラワーに、子どもたちの要望でほうれん草、人参、かぶを植えました。登降園時に「芽が出るね」「これ人参なんよ」と会話が聞こえて嬉しいです。

⑤音楽表現担当:相原 リーダー

各クラスも歌うことが大好きです。季節の歌、好きな歌を楽しみながら歌うことから、だんだんリズムや音の長さなどに興味を持って歌うようになっています。青白組はピアニアで新しい曲に挑戦中です。また、楽器の使い方を知り、楽器遊びから合奏へ楽しみながら音楽に親しむよう取組みます。

⑧言語支援担当:石崎 乳児主任

秋の遠足で、どんぐりやまつぼっくりなど、秋の実をたくさん収穫しました。「どんぐりの木って、どんな木なんだろう」「まつぼっくりはどんな風に木についているんだろう」と子どもたちが口にし、図鑑で調べるという探求心が育まれています。今後も、分からないこと、知りたいことなど、すぐに調べたり、話し合いができる環境を作っています。

⑦園芸栽培支援担当:米田園長

寒い冬をじっと耐え葉を広げたり、温かくなると芽を出す植物の生命力や不思議さを野菜や花の栽培、観察を通じて興味をふくらませ、探求心が育まれることを願っています。